

1万本の植樹を実施、参加者を募集

7/1（土）鏡野町で山田養蜂場が開催

植物本来の生命力を高め、短期間で森林を再生する「宮脇式植樹」を採用

株式会社山田養蜂場（本社：岡山県苫田郡鏡野町、代表：山田英生）は、地球環境について考え、SDGsに貢献できる機会の提供として、7月1日（土）に「第7回 山田養蜂場 宮脇式植樹祭」を開催いたします。この植樹祭の参加者を先着300人限定で募集いたします。

■山田養蜂場の植樹活動について

受粉を助けるハチがいなくなると、野菜や果物の7割が消えてしまうといわれるほど、ハチは自然環境に大きな影響を与えています。養蜂業は豊かな自然環境がなければ成り立ちません。持続可能な事業活動を行い、豊かな自然環境を次代に残していくことが私たちの使命です。

当社は1999年から植樹活動を行っており、これまでに国内やネパール、中国などで222万本以上の木を植えてきました。今後も植樹活動を続け、本物の森づくりに貢献してまいります。



■植樹祭概要

申し込み方法：Webの応募フォームもしくはTEL(0868-54-2666)にて、参加者氏名、住所、連絡先、年齢をご連絡のうえ、お申込みください。参加費は無料です。

開催日時：2023年7月1日（土） 8:30～10:00 ※小雨決行

受付時間：7:30～8:15

開催場所：岡山県苫田郡鏡野町市場194

※熱中症対策をしたうえで、汚れてもよい服装でお越しください。



応募フォーム
QRコード



過去の植樹祭の様子

■「宮脇式植樹」とは

世界的に高く評価されている植物生態学者の故・宮脇昭氏が提唱した「その土地本来の植生に基づき、さまざまな樹種を混ぜながら密植することで、自然環境を回復し、人々の命を守る、本物の森をつくる」植樹方法のことです。宮脇氏に師事し、宮脇式植樹の第一人者である横浜国立大学の藤原一樹名誉教授が、植樹祭に参加されます。

■プロフィール



故・宮脇 昭（みやわき あきら）

1928年-2021年。岡山県出身。横浜国立大学名誉教授、(財)地球環境戦略研究機関 国際生態学名誉センター長を歴任。ドイツ国立植生図研究所で潜在自然植生理論を学び、世界を舞台に国内外1,700ヶ所以上に、合計4,000万本を超える植樹を行った。

【メディアお問い合わせ先】

株式会社山田養蜂場 文化広報室 谷野 (ht2065@yamada-bee.com) 早瀬 (ch0517@yamada-bee.com)

〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194 TEL: 0868-54-1906 FAX: 0868-54-3346

これまでの植樹実績

年	国内(本)	国外(本)	合計(本)
1999	-	700	700
2000	-	15,000	15,000
2001	30,547	35,000	65,547
2002	-	30,000	30,000
2003	-	50,000	50,000
2004	63,900	1,094,028	1,157,928
2005	-	35,150	35,150
2006	4,730	68,804	73,534
2007	-	67,234	67,234
2008	-	71,000	71,000
2009	-	100,660	100,660
2010	15,982	100,660	116,642
2011	-	90,530	90,530
2012	10,000	100,852	110,852
2013	-	40,501	40,501
2014	-	32,500	32,500
2015	-	3,000	3,000
2016	-	14,000	14,000
2017	-	27,000	27,000
2018	-	32,261	32,261
2019	-	26,500	26,500
2020	984	20,000	20,984
2021	-	21,500	21,500
2022	1,120	22,500	23,620
累計	127,263	2,099,380	2,226,643